

令和7年度すくわくプログラム活動報告

江戸川区 平井第二保育園

テーマ「自然物 ～泥んこ遊び～」



園庭には、たくさんの草花・虫たち・木の実があり、保育園を一步出れば土手が広がるなど子ども達は日常的に自然物に触れることができる環境で過ごしています。

その恵まれた環境を活かし、子ども達の“知りたい”“触れたい”“試してみたい”“嗅いでみたい”という気持ちの芽が大きく育つようにこのテーマを選びました。



【砂場のシートに雨が溜まってよ！】

4・5歳児の子がブルーシートに溜まった雨水をシャベルを使って大事に大事にバケツに入れていました！

「ここはコーヒーの水」

「いい場所みつけ！ここは透明な綺麗な水！」

1時間以上夢中で雨水を集めていました。

保育士はすぐに「泥んこ遊びをしよう」と準備を始めました。

【泥んこあそび】

初めての泥んこ遊びは、汚れてもいいのかドキドキの様子！でも、徐々にやってみたくて溢れて、行動に移す姿が見られてきました♪

◎ドロドロの土を触って「気持ち悪～い」と笑顔

◎「水が冷たい」「水がすぐになくなっちゃう！」

「どんどん水を入れて～」と気持ちを共有して、協力して遊びを広げていきました！



【ドロドロだあ～】

「自分かけると冷たくて気持ちいいよ！」

「〇〇ちゃんもやってみて！」

自分が感じたこと、経験したことを相手に伝えて思いを共有する子どもたち。

友達と一緒に遊ぶ楽しさは、こんなところから育っていきます。やりたいを全力で応援します。



まとめ

何度も「泥んこ遊び」をしてきた年長児が楽しそうに泥に触れて遊ぶ姿を見て・・・

3・4歳児クラスの子ども達も少しずつ泥に触れていく姿が見られるようになってきました。

「泥んこ遊び」は汚い遊びじゃなくて、触覚・聴覚・嗅覚いろいろな感覚を使いながら、試して失敗して、また挑戦する！遊びの宝庫です。泥に抵抗がなくなる頃には、穴を掘る子や水を運ぶ子、掘った穴をつなげる子など、一人ひとりが役割をもって遊びを進める様子が見られるようになっていきました。

これらの経験は、遊びでしか得られない「諦めない」「協力する」「相手の気持ちを受け入れる」「自分の気持ちをコントロールする」という力を育んでくれました。

これからも、子どもたちの興味や感覚を刺激する活動を考え工夫しながら「たのしい！」と思える遊びの環境作りをしていきたいと思えます。